

## JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業の採択案件決定

### ルワンダのオリパラホストタウン八幡平市から

#### R-GATE 八幡平・ルワンダで組織培養技術を用いた花き生産を目指す

この度、国際協力機構（JICA）は、2019年度第二回中小企業・SDGs ビジネス支援事業 普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）において、株式会社 R-GATE 八幡平（岩手県八幡平市、佐藤芳之代表取締役社長）が提案する「ルワンダ国 組織培養技術を用いた高品質花き種苗生産の普及・実証・ビジネス化事業」を採択いたしました。

（株）R-GATE 八幡平は、ルワンダにおいて組織培養技術を活用した鉢物用安代りらんど苗生産に関する普及・実証・ビジネス化事業を実施し、本事業後には、当該技術を用いた苗生産のビジネス展開を図り、同国の高付加価値農業と輸出産業育成への貢献を目指します。また、本事業を通じて、当該技術を他の花き生産にも適用できるよう技術基盤を整え、ルワンダの花き産業振興への貢献も目指します。

提案企業の本社所在地である八幡平市は2020年東京オリンピック・パラリンピックへ出場するルワンダ国オリンピックチーム及び代表団のホストタウンとして、文化・スポーツを通じた親密な国際交流を続けています。本事業が、八幡平市の地域活性化とルワンダ国の花き産業活性化・輸出振興の双方に繋がる架け橋となり、オリンピック後も両者の活発な交流が継続して行われることが期待されます。

#### <ルワンダでの活用を目指す組織培養技術>



JICA では、日本の企業の製品・技術の途上国での活用可能性の調査・実証を通し、企業の海外展開と途上国の開発促進を目指しています。中小企業・SDGs ビジネス支援事業では、2010年度以降、東北地域の様々な分野の中小企業等にご活用いただいております。これまでに51件が採択されました。（株）R-GATE 八幡平による提案事業は、東北では初となるアフリカを対象とした案件となっています。今回提案のあった普及・実証・ビジネス化事業は、途上国の課題解決に貢献し得るビジネスの事業化に向けて、技術・製品・ノウハウ等の実証活動を含むビジネスモデルの検証、提案製品等への理解の促進、ODA 事業での活用可能性の検討等を通じた事業計画案の策定を支援することを目的としたものです。

【関連リンク】 各スキーム概要 [https://www.jica.go.jp/priv\\_partner/activities/index.html](https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html)

中小企業・SDGs ビジネス支援事業 採択案件 [https://www.jica.go.jp/press/2019/20200205\\_10.html](https://www.jica.go.jp/press/2019/20200205_10.html)

<b>【本件に関する問い合わせ先】</b>	みちのくから世界へ！
JICA 東北 市民参加協力課 担当：上野 TEL：022-223-4772 FAX：022-227-3090 Mail：Uwano.Midori@jica.go.jp	JICA 東北ウェブサイト <a href="https://www.jica.go.jp/tohoku/">https://www.jica.go.jp/tohoku/</a>